

福岡地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：山本政弘（独立行政法人国立病院機構九州医療センター・AIDS/HIV 総合治療センター 部長）
研究協力者：牧園祐也、戸川貴一朗（Love Act Fukuoka／公益財団法人エイズ予防財団）
請田貴史、片山久也、北村紀代子、狭間隆司、橋口卓（Love Act Fukuoka）
井上緑（独立行政法人国立病院機構九州医療センター）、塩野徳史、金子典代、
市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

本研究は、2002 年から主に福岡地域の MSM に対し、当事者主体の HIV 感染予防啓発活動を行っている NGO「Love Act Fukuoka」による、コミュニティベースでの予防啓発の企画と実施、その評価を行ったものである。今年度は下記の研究と評価を行った。

1. コミュニティセンターhaco（以下、haco）の運営

2006 年に、コミュニティベースでの HIV 感染予防啓発普及拠点として、MSM 向け商業施設が集まる福岡市博多区住吉に開設した haco の運営を、継続して行った。

2. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施

昨年度に引き続き、haco を基点とした予防啓発プログラムを実施した。

3. HIV 陽性者ピアサポートの試行

昨年度に引き続き、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラスとの協働により、HIV 陽性者のセルフマネージメント向上を目的にした「HIV 陽性者交流会 at 福岡」を今年度も継続して実施した。

4. ゲイコミュニティとの協働

当事者主体型啓発活動として、ゲイバーマスター等のゲイコミュニティにおけるキーパーソンと協働したイベント「3rd RED RIBBON GAMES」を開催した。

5. MSM を対象とした HIV 即日検査キャンペーンの実施

低調を続ける MSM の受検行動促進および検査機会創成を目的に、昨年度に引き続き「さぎやま泌尿器クリニック」と協働して MSM を対象とした HIV 即日検査キャンペーンを実施した。

6. 行政との協働

福岡市と協働し、特例エイズ即日検査の広報資材とオリジナルデザインコンドームを作成した。また、セクシュアリティ理解のための研修会を共催した。福岡県とは、エイズデー夜間・休日検査の広報資材を協働作成した。

7. MSM における行動科学調査および介入評価

福岡県の 3 箇所の保健福祉センターにおける HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査と、コミュニティベース質問紙調査-GCQ アンケート 2013- を実施した。検査行動に関してはこれまでの啓発介入が届いていた年代層（25-39 歳）では、再受検も含めて検査行動が促進された可能性が考えられる。

A. 研究目的

男性同性間の性的接触による HIV 感染者および AIDS 患者は、関東や関西地域のみならず、九州地域においても増加が続いている。厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、2012 年の九州地域の日本国籍男性・男性同性間性的接触による新規 HIV 感染者報告数は 53 名、新規 AIDS 患者報告数は 26 名となっており、地域における感染拡大防止に向けた啓発普及は急務となっている。

九州地区のブロック拠点病院である九州医療センターにおいても、2013 年における新規患者は 55 名で、累積患者数は 500 名を越え、そのほとんどは MSM であり、患者増加は一向に減少傾向を示さない。(付図 1)

また、昨今の保健所検査相談事業の低迷を反映して、献血や郵送検査での陽性判明が増加している(付図 2、3)。検査機会の減少は早期発見早期治療の妨げとなり、陽性者の健康障害となるだけでなく、感染拡大の要因ともなる。

本研究では、九州の中でも特にゲイコミュニティの規模の大きな福岡地域における、NGO 「Love Act Fukuoka」(以下、LAF) による当事者性を重視した MSM の HIV 感染予防啓発の推進と試行、そしてその評価を行った。

B. 研究方法

1. コミュニティセンターhaco の運営

2006 年から、コミュニティベースでの HIV 感染予防啓発普及拠点として、MSM 向け商業施設が集まる福岡市博多区住吉にコミュニティセンターhaco (以下、haco) が開設され、LAF が公益財団法人エイズ予防財団より事業受託し運営を行っている。コミュニティセンターへの来場は、MSM が直接予防啓発事業に触れることとなるため、その来場は重要である。

現在の開館時間は、木曜～日曜の 18 時～22 時。祝日は開館。最終日曜は LAF 定例ミーティ

ングのため休館としている。実施するプログラムや、利用希望があった場合は、上記時間外の対応も行っている。また、インターネット利用者も視野に入れた幅広い MSM の誘導を目的に、haco ウェブサイトの運営も行い、haco で開催するイベントや勉強会、その他プログラムに関する情報を発信している。

2. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施

昨年度に引き続き、haco を基点とした予防啓発プログラムを実施した。

1) コミュニティセンター来場者に対する啓発プログラム：勉強会の開催

昨年度まで、第 1 日曜日に開催していた勉強会「気になる HIV」を、新たに「パコカル」と名称変更し、ほぼ毎月のペースで開催した。この勉強会は、性感染症についての正確な情報を提供すること、また性感染症および自分の性について話しやすい場を作ることで、参加者の抱えている疑問や不安を解消し、リスクの高い性行為の回避に繋げることを目的としている。参加しやすさ、親しみやすさを重視し、講師が一方向的に話す講演形式ではなく、参加者も交えたワーク形式で企画を行い、参加への興味を集めるとともに、楽しみながら知識を身に付けられる構成を目指した。

2) 啓発資材の作成と配布

コミュニティセンターを基点とした啓発資材の配布は、ゲイコミュニティに対して HIV の問題と啓発活動を可視化させる有効な手段であり、その有用性はこれまでの研究結果からも証明されている。

福岡では 2004 年から、ゲイコミュニティにおけるセーフターセックスの規範構築を目的に、性感染症に関する様々な情報や、保健所等における HIV 抗体検査情報を掲載した「コミュニティペーパーseason」(以下、「season」)

を作成し、福岡市博多区および北九州市小倉北区のMSM向け商業施設を中心に配布してきた。昨年度からは、鹿児島島のゲイバー1店舗にも送付を行っている。この「season」を、今年度も継続して作成し配布した。

3. HIV陽性者ピアサポートの試行

HIV陽性者においては、感染後のセルフマネージメントが必要であり、そのことは感染拡大予防や二重感染にも繋がるが、日常生活における細かな事柄等はプライバシーやセクシュアリティなどにも関係するため、医療機関その他では相談しづらい状況がある。そのため、当事者同士によるピアサポートはHIV陽性者のセルフマネージメント向上のため極めて有効である。

hacoの開設以降、来場するHIV陽性者から「当事者同士で集まれる場所が欲しい」との声が多く寄せられていたが、福岡にはHIV陽性者ピアサポートの場がなかったため、リソースを他地域に求めるしかない状況であった。そのような中、LAFボランティアスタッフから「福岡でピアサポートグループを立ち上げたい」という申し出があったため、彼をプログラムリーダーとして、特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス（以下JaNP+）との協働により、福岡におけるHIV陽性者ピアサポートの試行として2012年から「HIV陽性者交流会 at 福岡」の実施を始めた。

今年度も、この交流会を継続して実施した。会場はプライバシー保護の観点から非公開とした。対象はゲイ・バイセクシュアル男性のみとし、広報は九州医療センターでのフライヤー設置と、HIV陽性者向けSNS「Ferry」で行った。また参加申し込みはJaNP+ウェブサイトを通じ受け付けた。

4. ゲイコミュニティとの協働

当事者主体型啓発として、ゲイバーマス

ター等のゲイコミュニティにおけるキーパーソンと協働したイベント「3rd RED RIBBON GAMES」を9月29日に実施した。このRED RIBBON GAMES（以下RRG）は、2010年にスポーツサークルを主催する市内6店舗のゲイバーマスターとの協働により始まった、複数種目の競技大会を同日に開催するというイベントである。2010年の実績により、2011年からは福岡県の後援を得ている。毎回、500名～600名ほどのMSM参加者が集まっており、参加者に対し予防啓発のメッセージを伝えている。

広報にあたり、大会パンフレット5,000部とポスター200枚を作成し、主に九州地域のMSM向け商業施設約100店舗へ配布および送付した。大会参加者には、LAFが作成したオリジナルデザインのコンドームと、hacoを紹介するフライヤーをパッケージした資材を配布した。

5. MSMを対象としたHIV即日検査キャンペーンの実施

低調を続けるMSMの受検行動促進および検査機会創成を目的に、昨年度に引き続き「さぎやま泌尿器クリニック」と協働したHIV即日検査キャンペーンを実施した。

期間は7月19日～9月末日までとし、クリニックの通常診療時間内で実施することとした。内容は、HIV迅速検査と確認検査、および陽性判定後の拠点病院紹介までを、無料匿名で行った。検査後のケアと予防介入のため、電話相談を行っているエイズ・ワーカーズ・福岡のパンフレット、hacoのパンフレット、コンドーム1個の資材セットを作成し、検査後の受検者に渡した。予約は、hacoウェブサイトを経由した前日までの電話予約とし、受検者が検査を十分に理解した上で受検を選択できるように、ウェブサイト内に特設ページを作成し、検査に関する詳細な情報を掲載した。広報はフライヤー3,000部を作成し、市内のMSM向け商業施設を中心に配布した。ま

た RRG のパンフレットにも情報を掲載した。

6. 行政との協働

福岡では、2002 年から九州医療センターが主体となり、福岡県、福岡市、LAF が一同に会し、その年の HIV 関連事業における協働について検討する「セクシュアルヘルス懇談会」を開催し、医療機関と行政、NGO の連携体制を構築している。今年度も5月23日に開催し、検討を行った。

7. MSM における行動科学調査および介入評価

1) HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

福岡県の3箇所の保健所の協力を得て HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査を実施した。本調査は2012年度から継続して実施しており2年目にあたる。本報告では2013年1月から2013年9月末に得られた回答者を対象に分析した。

方法は、HIV を含む性感染症の検査受検者に調査回答を依頼し、同意の得られた受検者から回答を得た。通常検査、即日検査のいずれの場合も検査結果が返却される前に質問紙を記入することを依頼した。記入後は回答者が回答用封筒に質問紙を密封し、各機関に設置された回収箱に投函する方法とした。集められた質問紙は毎月月末に各機関で回収し、調査事務局へ密封したまま郵送された。

質問項目は基本属性、HIV 抗体検査受検経験、HIV や検査に対する意識、性行動、資材認知等とした。資材やCBOの活動の認知には画像を使用した。2013年度は累計で受検件数は1,288件であり、陽性判明数は9人(0.70%)であった。質問紙は889人の回答を得た(回収率69.0%)であった。(付表3)

年齢・居住地・性別・生涯の HIV 抗体検査経験について無回答であったものを除き、有効回答とした。年齢層は24歳以下、25-34歳、35-44歳、45歳以上の4群に分類した。その

他の項目について無回答であった場合はいずれかの選択肢に含めて集計した。2013年1月から新たに HIV/STI や検査に関する知識として以下の5項目追加した。ウィンドウピリオドについて「通常HIV検査では、感染から2~3ヶ月経過しないと感染しているかどうか分からない(正答)」、偽陽性の可能性について「HIV 即日検査や郵送検査キットでは、感染していなくても陽性(感染している)と結果が出ることもある。(正答)」、偽陽性の場合、再検査の必要性があることについて「HIV 即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。(正答)」、重複感染について「性感染症に感染していると、HIV に感染しやすくなる。(正答)」、服薬治療について「HIV 感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった。(正答)」。これらの項目の追加にあたっては各保健所担当者やCBO等の当事者と検討を重ねた。

分析では、性別が男性であり「これまでにセックスをした相手の性別」が男性または両性であったと回答した人をMSMとした。性別が男性でありMSMではなかった人をMSM以外の男性とした。MSM以外の男性、女性、MSMの3群に分類し、各群における差異について検討した。(付表4)

そしてMSM群におけるCBO活動や資材の認知によってあり群となし群に分類し、その2群間の差異を検討することによって、介入の効果評価を試みた。(付表5)

2) コミュニティネットワークを用いたMSMを対象とする性の健康、HIV/AIDS 感染予防行動に関する質問紙調査-GCQ アンケート 2013-

インターネットを用いて、質問紙調査を実施した。本調査は全国で同一の方法を用いて行われており、配布地域を明らかにするため

各地域で固有の QR コードを設定している。質問の内容は基本属性、検査行動、性行動、性感染症既往歴、HIV に関する対話経験、周囲の感染者の有無、予防介入プログラムへの接触状況などとした。

九州地域では 2013 年 4 月 16 日から 2013 年 7 月 21 日までの約 3 ヶ月間とした。実施期間中に LAF の配布した QR コードによって 908 人の回答を得た。そのうち重複回答を除く、九州地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM は 595 人であった（有効回答率 65.5%）。また他地域の QR コードから回答した九州地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM が 54 人おり、合わせて 649 人を分析対象とした。

分析対象となった 649 人を 2012 年度と同様に、年齢層について 24 歳以下、25-29 歳、30-34 歳、35-39 歳、40 歳以上の 5 カテゴリーに分類し、質問項目を年齢カテゴリー別に分析した。24 歳以下は 129 人(19.9%)、25-29 歳は 168 人(25.9%)、30-34 歳 156 人(24.0%)、35-39 歳は 104 人(16.0%)、40 歳以上は 92 人(14.2%)であった。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 19 を用いた。なお、本研究実施計画については名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得た（ID 番号 11027-2）。

C. 研究結果および考察

1. コミュニティセンターhaco の運営

コミュニティセンターへの来場は MSM が直接予防啓発事業に触れることとなるため、その来場は重要である。今年度の来場者の状況は付図 4 の通りであった。2013 年 12 月までの総来場者数は 1,703 名（前年比 104%）うち新規来場者数は 125 名（前年比 63%）であった。

新規来場者数は減少傾向であったものの、サークルでの利用などは増加し総来場者数で

は前年比を上回っており、地域に根ざした拠点としての定着が見られた。今後は、まだセンターに来場していない MSM を誘導するための機会創出が課題である。

2. コミュニティセンターを基点とした予防啓発プログラムの実施

1) コミュニティセンター来場者に対する啓発プログラム：勉強会の開催

今年度の実績は付表 1 の通りであった。勉強会は直接の啓発機会でもあるため、できるだけ多くの参加を得ることが重要となる。新たな企画の際には参加者も集まったが、以前にも行った内容の繰り返しでは飽きられる傾向があった。毎月継続して開催するにあたり、常に新しい企画を提案し続けることにも限界があるため、人気のあった企画をブラッシュアップし定型化するなど、継続するための工夫を考える必要がある。また、参加者が欲する知識のニーズも様々であるため、参加しやすさを追求するだけでなく、より専門的な知識を提供する企画も考える必要がある。

2) 啓発資材の作成と配布

今年度の「season」は、9 月に開催された 3rd RED RIBBON GAMES のパンフレット作成に伴い、予算の都合から 1 号休刊し、#32 号～#33 号の計 2 号を作成し配布した。#34 号は、2014 年 2 月の作成・発行を予定している。今年度の配布実績は付表 2 の通りであった。

3. HIV 陽性者ピアサポートの試行

今年度の実績は下記の通りであった

実施日	参加者
7 月 28 日	3 名
12 月 29 日	2 名

参加者は、全員新規の参加であった。参加した HIV 陽性者からは、セルフマネジメントが向上したとの声を多数聞くことができ、HIV 陽性者のセルフマネジメントの向上による感

染拡大予防に繋がる可能性が示唆された。今後は広報を中核拠点病院にも広げ、定期的な開催を目指したいと考える。福岡におけるHIV陽性者の受け皿となるよう、運営を安定させることが課題である。

4. ゲイコミュニティとの協働

今回のRRG参加者数は合計497名であった。スタッフおよび観客数を合わせると、推定500~600名以上のMSMが集まったと考えられ、多くのMSMに対する啓発機会となった。

5. MSMを対象としたHIV即日検査キャンペーンの実施

結果は、受検者18名で、HIV迅速検査での陽性判定は1名、確認検査後の陽性判定は0名であった。昨年度と比較すると、受検者数はさほど伸びなかった。キャンペーン実施期間が2ヶ月弱と短く、広報が十分に行き届く前にキャンペーンが終了してしまったことが要因として考えられる。

保健所における検査数が低迷したまま回復の兆しを見せない今、検査機会拡大のためにもクリニックにおける対象を限定した検査の促進が必要である。

6. 行政との連携

検討の結果、今年度は下記の協働を行った。

1) 福岡市

①特例即日エイズ検査の広報資材とオリジナルデザインのコンドーム作成

福岡市中央区の保健所で実施される、特例即日エイズ検査広報のためのフライヤー3,000部と、オリジナルデザインのコンドーム約7,500個を作成し、MSM向け商業施設に配布した。

②セクシュアリティ理解のための研修会開催

主に福岡市内保健所の検査従事者および職員を対象に、検査相談対応の質の向上を目的としたセクシュアリティ理解のための研修会

を企画し、2014年2月7日に開催とした。

2) 福岡県

世界エイズデー夜間・休日検査の広報資材作成

福岡県が管轄する保健所で実施される夜間・休日検査の広報のためのフライヤーを5,000部作成し、MSM向け商業施設に配布した。

7. MSMにおける行動科学調査および介入評価

1) HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

調査の概要としてHIV抗体検査実施状況および陽性判明数(率)を男女別に示した(付表3)。年齢等無回答であった62人を除く827人(有効回収率64.2%)の平均年齢は31歳±9歳であり、最少齢16歳、最高齢73歳であった。受検者中のMSM割合は15.8%であった。

有効回答者においてMSM以外の男性受検者、女性受検者、MSM受検者別の状況を付表4に示した。居住地は福岡県在住者がいずれの群でもほとんどであり全体では96.7%であった($p=0.65$)。独居割合や未婚者割合はMSM以外の男性・女性に比べMSMで高かった。健康保険未加入割合はMSM以外の男性2.0%、女性4.0%、MSM6.1%でMSMでは他に比べ高かった($p<0.01$)。また過去6ヶ月間にお金をもらった性交経験はMSM以外の男性1.5%、女性9.6%、MSM8.4%でありMSM以外の男性に比べ女性、MSMで高かった($p<0.01$)。LAFによる活動や広報の認知割合はMSM以外の男性3.8%、女性4.8%、MSM30.5%であり、MSM以外の男性、女性に比べMSMで高かった($p<0.01$)。

MSM受検者におけるLAFによる活動や広報の認知別の受検者特性について付表5に示した。認知群では再受検割合が85.0%と非認知群に比べ高かった($p=0.02$)。

2) コミュニティネットワークを用いた MSM を対象とする性の健康、HIV/AIDS 感染予防行動に関する質問紙調査—GCQ アンケート 2013—

九州地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性および MSM 649 人の年齢層別の状況について付表 6～9 に示した。

全体ではゲイであると回答する割合は 89.1%であり、独居割合は 52.7%、既婚割合は 2.3%、健康保険未加入割合は 4.3%であった。生涯におけるゲイ向け商業施設利用割合はゲイバーが最も高く 92.9%、次いでスマートフォンのゲイ向けアプリ 72.6%、ゲイナイト 68.7%、携帯出会い系サイト 68.6%等であった。ゲイバーやゲイナイト、有料のハッテン場等は年齢層が高いほど利用割合が高く、スマートフォンのゲイ向けアプリやゲイ向けサークル等は 25-29 歳層が他の年代層に比べ高かった。(付表 6)

生涯の HIV 抗体検査受検割合は年齢層によって異なり 30-34 歳が最も高く 70.5%、次いで 25-29 歳 67.9%、35-39 歳 67.3%、40 歳以上 55.4%、24 歳以下 50.4%であった ($p<0.01$)。過去 1 年間の HIV 抗体検査受検割合も年齢層によって異なり 25-29 歳が最も高く 41.7%、次いで 24 歳以下 38.8%、35-39 歳 30.8%、30-34 歳 30.1%、40 歳以上 22.8%であった ($p=0.01$)。40 歳以上では検査行動が促進されていないことが示唆された(付表 7)。

コミュニティセンターの来場経験割合では 40 歳以上が最も高く 39.1%、次いで 35-39 歳 38.5%、30-34 歳 34.0%、25-29 歳 30.4%、24 歳以下 18.6%であった ($p<0.01$)。コミュニティペーパーの既読割合は 35-39 歳が最も高く 67.3%、次いで 30-34 歳 58.3%、25-29 歳 55.4%、40 歳以上 55.4%、24 歳以下 32.6%であった ($p<0.01$)。博多の検査行動促進キャンペーンキャラクターの認知は 35-39 歳が最も高く 52.9%、次いで 25-29 歳 50.0%、30-34 歳 45.5%、40 歳以上 38.0%、24 歳以下 35.7%

であった ($p=0.03$)。コミュニティセンターやコミュニティペーパーの接触状況には蓄積効果がみられ年齢層が高くなると来場割合や既読割合は高くなるが、新規のキャンペーンキャラクターの認知は 40 歳以上と 24 歳以下では他の年齢層に比べ低かったと考えられる。(付表 9)

コンドーム使用状況については年齢層における差はみられず、全体で 41.9%と低い割合にとどまっている(付表 8)。一方で検査行動に関してはこれまでの啓発介入が届いていた年代層(25-39 歳)では、再受検も含めて検査行動が促進された可能性が考えられる。しかし 40 歳以上では介入効果はみられず、検査行動促進にはいたらなかったと思われる。また 24 歳以下では介入への浸透度が低く若年層向けに活動を拡大していくことが望まれる。

E. 結語

コミュニティセンターの運営と、センターを基点としたプログラムは概ね予定通り実施され、地域に根ざした HIV 感染予防啓発普及拠点として機能していると考えられるが、MSM における感染拡大は依然持続しており、今後もさらに訴求力のある企画やイベント、プログラムを随時開発し、新規来場者の誘導と啓発普及を進めていく必要がある。

個別施策層に対する予防啓発は、対象の属するコミュニティとの協働が必要不可欠である。ゲイコミュニティのキーパーソンと協働し開催してきた RRG が、今回で一旦の終了となった。ゲイバーマスターなどキーパーソンの世代交代や入れ替わりも進んでおり、ゲイコミュニティの現状に応じた新たな協働方法を模索しなければならない。

新世代の若年層における新規 HIV 感染や、中高年層の AIDS 発症増加など、MSM の HIV 啓発普及における新たな課題が見え始めている。これまで各地域で実施されてきた MSM への啓発普及の継続はもちろんの事、新たな課題に

対する取り組みを早急に検討し実施することが必要である。

F. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表論文等)

(論文)

1. ○塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM(Men who have sex with men)におけるHIV抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, 公衆衛生雑誌, 60(10), 639-650, 2013

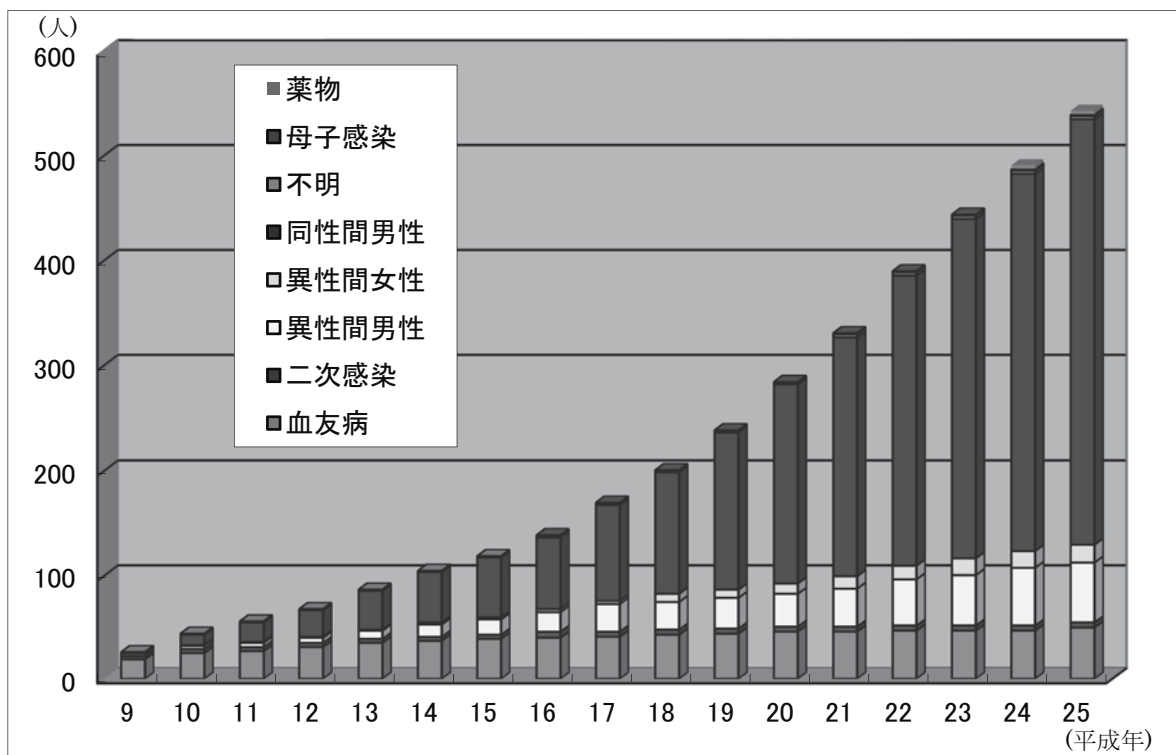
(国内学会発表)

1. ○牧園祐也, 荒木順子, 石田敏彦, 太田貴, 金城健, 後藤大輔, 伊藤俊広, 内海眞, 鬼塚哲郎,

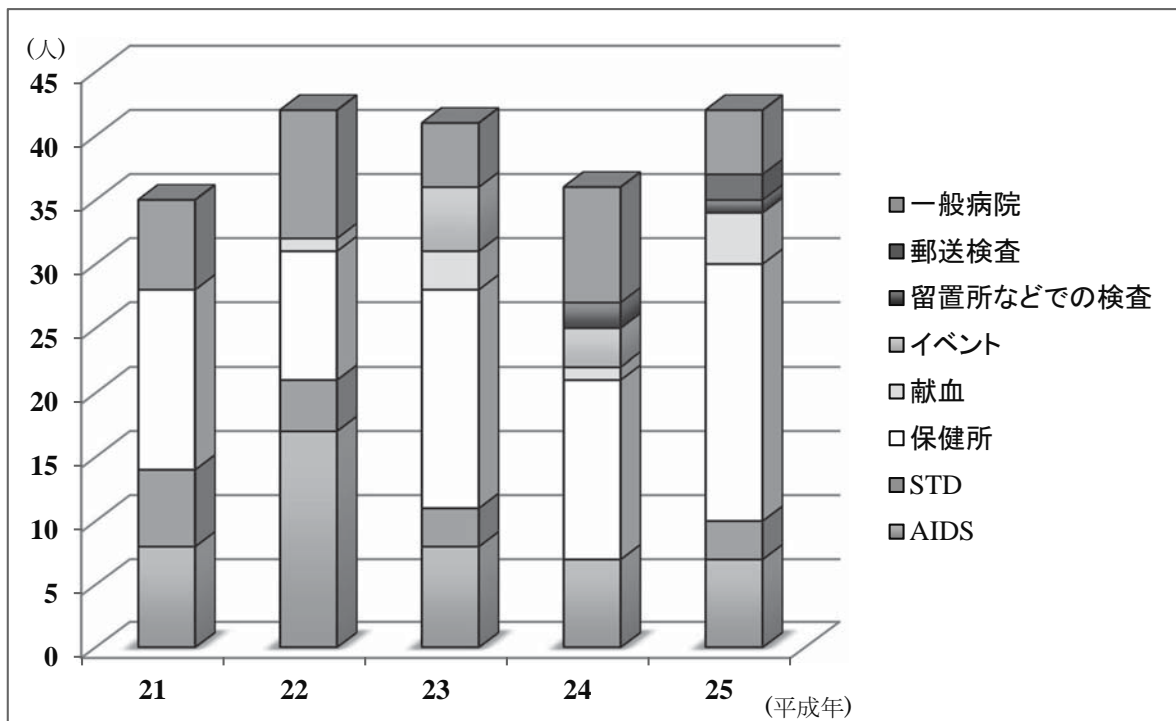
山本政弘, 健山正男, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一: MSM向けエイズ対策としてのコミュニティセンターの意義と妥当性の検討, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

2. 今村葉子, 戸川貴一郎, 與那嶺敦: 地方におけるHIV陽性者、そのサポートは?～プライバシー守秘と孤立解消の取り組み、九州・沖縄でのトライアルを通して～, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

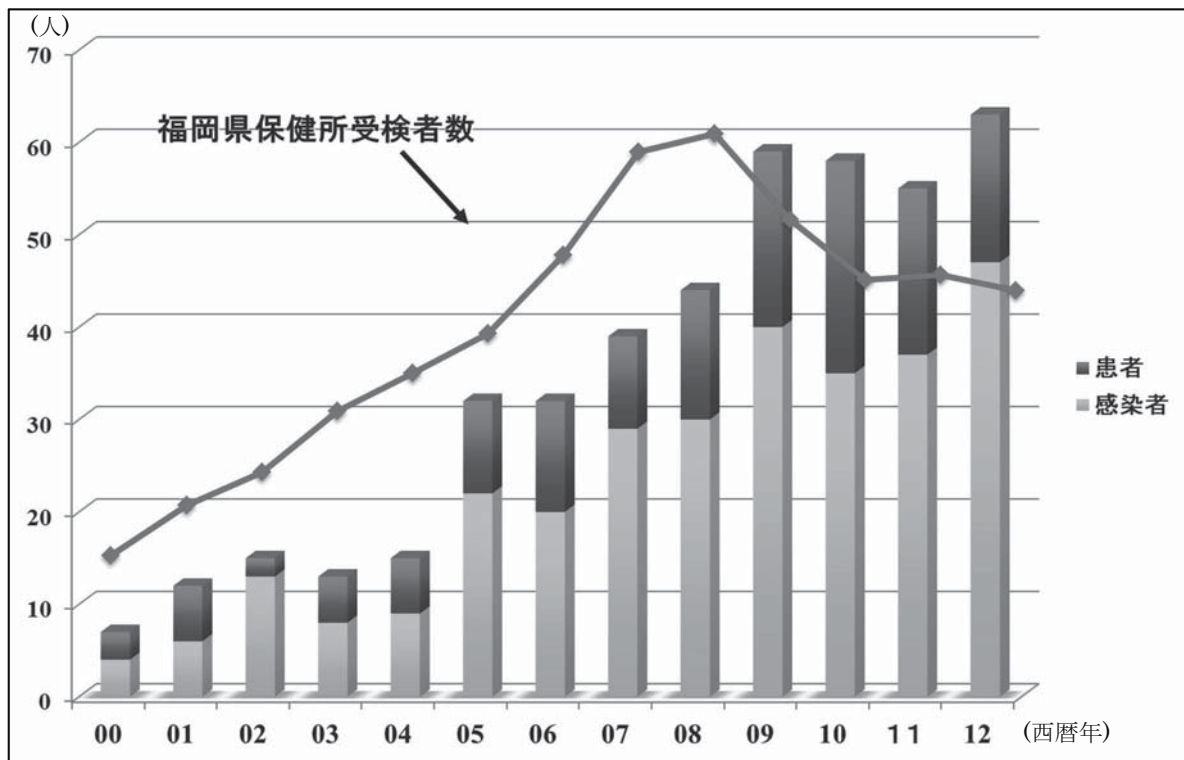
付図1 九州医療センターにおける受診患者数



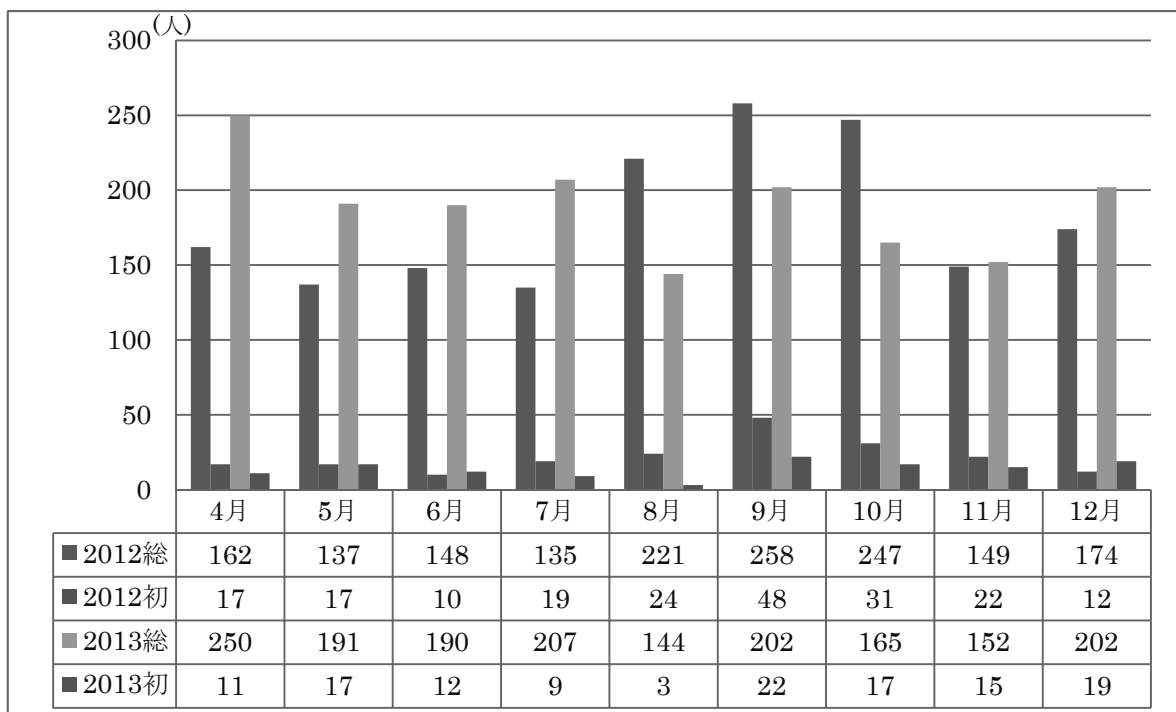
付図2 新規感染者判明契機



付図3 福岡県保健所受験者数と感染者患者報告数の推移



付図4 コミュニティセンターhaco 月別総来場者数と新規来場者数の推移 (12月まで)



付表1 勉強会「パコカル」実績

実施日	タイトル	来場者数
4月7日	ローション&コンドーム	8
5月12日	教科書には載ってない歴史上の人物と『男』の関係	10
6月	構成再検討のため休会	0
7月7日	HIV 検査って何をするの？	3
8月11日	70年代の文学に触れ合う官能の夏	4
9月1日	HIV の基礎講座	3
10月6日	HIV 検査の種類と変遷	4
11月3日	HIV の基礎講座	4
12月1日	「UNITED IN ANGER -ACT UP の歴史-」上映会	11
1月5日	姫はじめにピッタリなシャワ浣&コンドーム	8

付表2 啓発資材配布実績

地区	商業施設数	連携割合	配布日時	参加者数
福岡市	76 店舗	94%	5月25日	5名
			5月26日	5名
			8月3日	8名
			8月4日	6名
			11月23日	3名
			11月24日	3名
北九州市	10 店舗	100%	同上	1名
鹿児島市	1 店舗	-	season 発行毎	郵送

付表4 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査：MSM以外男性・女性・MSMの各群における比較

	MSM以外の男性		女性		MSM		合計		χ ² 検定 によるp値
	n=343		n=357		n=131		n=827		
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？									
再受検	132	38.5%	137	38.8%	94	71.8%	363	43.9%	<0.01
初受検	210	61.2%	216	61.2%	36	27.5%	462	55.9%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
年齢									
24歳以下	64	18.7%	109	30.9%	40	30.5%	213	25.8%	<0.01
25-34歳	143	41.7%	184	52.1%	51	38.9%	378	45.7%	
35-44歳	92	26.8%	43	12.2%	26	19.8%	161	19.5%	
45歳以上	43	12.5%	14	4.0%	14	10.7%	71	8.6%	
無回答	1	0.3%	3	0.8%	0	0.0%	4	0.5%	
居住地									
福岡県	333	97.1%	342	96.9%	125	95.4%	800	96.7%	0.65
それ以外の地域*	10	2.9%	11	3.1%	6	4.6%	27	3.3%	
居住形態									
はい(1人暮らし)	119	34.7%	142	40.2%	74	56.5%	335	40.5%	<0.01
いいえ	223	65.0%	211	59.8%	57	43.5%	491	59.4%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
婚姻状況									
結婚している	138	40.2%	62	17.6%	9	6.9%	209	25.3%	<0.01
結婚していない	203	59.2%	290	82.2%	122	93.1%	615	74.4%	
無回答	2	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	3	0.4%	
健康保険加入状況									
国民健康保険/職場の健康保険 被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	287	83.7%	258	73.1%	104	79.4%	649	78.5%	<0.01
未加入*	49	14.3%	81	22.9%	19	14.5%	149	18.0%	
	7	2.0%	14	4.0%	8	6.1%	29	3.5%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*									
ウィンドウピリオドについて	306	89.2%	310	87.8%	116	88.5%	732	88.5%	0.40
偽陽性の可能性について	168	49.0%	140	39.7%	73	55.7%	381	46.1%	0.01
偽陽性の場合、再検査の必要性がある	232	67.6%	234	66.3%	99	75.6%	565	68.3%	0.18
重複感染について	239	69.7%	202	57.2%	95	72.5%	536	64.8%	<0.01
服薬治療について	285	83.1%	254	72.0%	105	80.2%	644	77.9%	<0.01
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？									
できない/できないと思う	143	41.7%	154	43.6%	80	61.1%	377	45.6%	0.01
わからない	60	17.5%	55	15.6%	11	8.4%	126	15.2%	
できる/できると思う	139	40.5%	144	40.8%	40	30.5%	323	39.1%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？									
できない/できないと思う	182	53.1%	161	45.6%	62	47.3%	405	49.0%	<0.01
わからない	56	16.3%	44	12.5%	8	6.1%	108	13.1%	
できる/できると思う	102	29.7%	148	41.9%	61	46.6%	311	37.6%	
無回答	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%	
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？									
知らない	164	47.8%	188	53.3%	55	42.0%	407	49.2%	0.12
知っている	178	51.9%	165	46.7%	75	57.3%	418	50.5%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？									
まったくなかった	111	32.4%	138	39.1%	22	16.8%	271	32.8%	<0.01
あまりなかった	101	29.4%	128	36.3%	47	35.9%	276	33.4%	
時々あった	115	33.5%	79	22.4%	54	41.2%	248	30.0%	
よくあった	15	4.4%	8	2.3%	7	5.3%	30	3.6%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.2%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？									
ない*	161	46.9%	352	99.7%	116	88.5%	629	76.1%	<0.01
ある	182	53.1%	1	0.3%	15	11.5%	198	23.9%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？									
ない*	338	98.5%	319	90.4%	120	91.6%	777	94.0%	<0.01
ある	5	1.5%	34	9.6%	11	8.4%	50	6.0%	
あなたはこれまでにの性感染症にかかったことはありますか？									
ない	263	76.7%	248	70.3%	98	74.8%	609	73.6%	0.27
ある	76	22.2%	103	29.2%	32	24.4%	211	25.5%	
無回答	4	1.2%	2	0.6%	1	0.8%	7	0.8%	
広報資料の認知（複数回答）									
各行政のホームページ	143	41.7%	127	36.0%	38	29.0%	308	37.2%	0.03
各行政の紙資料-ポスター-広報誌等	42	12.2%	69	19.5%	17	13.0%	128	15.5%	0.02
CBOの活動や資料	13	3.8%	17	4.8%	40	30.5%	70	8.5%	<0.01
HIVマップ	15	4.4%	10	2.8%	15	11.5%	40	4.8%	<0.01
HIV検査・相談マップ	88	25.7%	107	30.3%	36	27.5%	231	27.9%	0.39
AC広告(エイズ予防財団)	18	5.2%	15	4.2%	15	11.5%	48	5.8%	0.01

*集計のさいに無回答を含んでいる。

付表5 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査：

MSM受検者におけるCBO (Love Act Fukuoka) の活動や資材の認知別分析

	CBO活動や資材の認知				合計 n=131		χ ² 検定 によるp値	
	あり n=91		なし n=40					
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
	再受検	60	65.9%	34	85.0%	94	71.8%	0.02
	初受検	31	34.1%	5	12.5%	36	27.5%	
	無回答	0	0.0%	1	2.5%	1	0.8%	
年齢								
	24歳以下	32	35.2%	8	20.0%	40	30.5%	0.26
	25-34歳	35	38.5%	16	40.0%	51	38.9%	
	35-44歳	15	16.5%	11	27.5%	26	19.8%	
	45歳以上	9	9.9%	5	12.5%	14	10.7%	
	無回答							
居住形態								
	はい(1人暮らし)	50	54.9%	24	60.0%	74	56.5%	0.59
	いいえ	41	45.1%	16	40.0%	57	43.5%	
	無回答							
婚姻状況								
	結婚している	8	8.8%	1	2.5%	9	6.9%	0.19
	結婚していない	83	91.2%	39	97.5%	122	93.1%	
	無回答							
健康保険加入状況								
	国民健康保険/職場の健康保険	69	75.8%	35	87.5%	104	79.4%	0.29
	被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	15	16.5%	4	10.0%	19	14.5%	
	未加入*1	7	7.7%	1	2.5%	8	6.1%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*1								
	ウィンドウピリオドについて	80	87.9%	36	90.0%	116	88.5%	0.73
	偽陽性の可能性について	53	58.2%	20	50.0%	73	55.7%	
	偽陽性の場合、再検査の必要性がある	69	75.8%	30	75.0%	99	75.6%	0.92
	重複感染について	64	70.3%	31	77.5%	95	72.5%	
	服薬治療について	72	79.1%	33	82.5%	105	80.2%	0.66
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？								
	できない/できないと思う	56	61.5%	24	60.0%	80	61.1%	0.17
	わからない	5	5.5%	6	15.0%	11	8.4%	
	できる/できると思う	30	33.0%	10	25.0%	40	30.5%	
	無回答							
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？								
	できない/できないと思う	46	50.5%	16	40.0%	62	47.3%	0.33
	わからない	4	4.4%	4	10.0%	8	6.1%	
	できる/できると思う	41	45.1%	20	50.0%	61	46.6%	
	無回答							
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？								
	知らない	41	45.1%	14	35.0%	55	42.0%	0.20
	知っている	50	54.9%	25	62.5%	75	57.3%	
	無回答	0	0.0%	1	2.5%	1	0.8%	
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？								
	まったくなかった/あまりなかった	46	50.5%	23	57.5%	69	52.7%	0.64
	よくあった/時々あった	44	48.4%	17	42.5%	61	46.6%	
	無回答	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	
あなたはこれまでの性感染症にかかったことはありますか？								
	ない	68	74.7%	30	75.0%	98	74.8%	0.80
	ある	22	24.2%	10	25.0%	32	24.4%	
	無回答	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	
広報資材の認知（複数回答）								
	各行政のホームページ	23	25.3%	15	37.5%	38	29.0%	0.16
	各行政の紙資材-ポスター-広報誌	8	8.8%	9	22.5%	17	13.0%	
	HIVマップ	5	5.5%	10	25.0%	15	11.5%	<0.01
	HIV検査・相談マップ	23	25.3%	13	32.5%	36	27.5%	
	AC広告(エイズ予防財団)	6	6.6%	9	22.5%	15	11.5%	0.01
特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2								
	常用	21	31.8%	8	24.2%	29	29.3%	0.43
	非常用	45	68.2%	25	75.8%	70	70.7%	
特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2								
	常用	20	32.3%	13	40.6%	33	35.1%	0.42
	非常用	42	67.7%	19	59.4%	61	64.9%	
特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2								
	常用	6	23.1%	3	60.0%	9	29.0%	0.10
	非常用	20	76.9%	2	40.0%	22	71.0%	
特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2								
	常用	5	23.8%	4	66.7%	9	33.3%	0.05
	非常用	16	76.2%	2	33.3%	18	66.7%	

*1 集計のさいに無回答を含んでいる。

*2 過去6ヶ月間に膣性交または肛門性交を行ったと回答したもののみを分析対象としたため総数が異なる。

付表6 GCQ アンケート 2013：年齢別の基礎属性

	年齢										合計 n=649	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=129		n=168		n=156		n=104		n=92				
性的指向													
ゲイ(同性愛者)	108	83.7%	152	90.5%	135	86.5%	98	94.2%	85	92.4%	578	89.1%	0.04
バイ(両性愛者)	15	11.6%	14	8.3%	19	12.2%	3	2.9%	7	7.6%	58	8.9%	
その他	6	4.7%	2	1.2%	2	1.3%	3	2.9%	0	0.0%	13	2.0%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？													
一人暮らし	58	45.0%	91	54.2%	87	55.8%	55	52.9%	51	55.4%	342	52.7%	0.04
家族と同居	61	47.3%	56	33.3%	50	32.1%	29	27.9%	30	32.6%	226	34.8%	
家族以外と同居	10	7.8%	21	12.5%	19	12.2%	20	19.2%	11	12.0%	81	12.5%	
あなたは現在、結婚していますか？													
結婚している	3	2.3%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%	7	7.6%	15	2.3%	<0.01
結婚していない	126	97.7%	168	100.0%	151	96.8%	104	100.0%	85	92.4%	634	97.7%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？													
国民健康保険	57	44.2%	51	30.4%	51	32.7%	34	32.7%	27	29.3%	220	33.9%	<0.01
職場の健康保険	46	35.7%	97	57.7%	100	64.1%	65	62.5%	59	64.1%	367	56.5%	
被扶養者の健康保険	18	14.0%	11	6.5%	3	1.9%	1	1.0%	1	1.1%	34	5.2%	
持っていない	8	6.2%	9	5.4%	2	1.3%	4	3.8%	5	5.4%	28	4.3%	
次の中でこれまでに利用したものはありますか？(複数回答)													
ゲイバー	113	87.6%	163	97.0%	146	93.6%	96	92.3%	85	92.4%	603	92.9%	0.04
ゲイナイト	54	41.9%	118	70.2%	120	76.9%	84	80.8%	70	76.1%	446	68.7%	<0.01
ゲイショップ	56	43.4%	102	60.7%	112	71.8%	87	83.7%	70	76.1%	427	65.8%	<0.01
PC出会い系サイト	43	33.3%	79	47.0%	96	61.5%	65	62.5%	43	46.7%	326	50.2%	<0.01
携帯出会い系サイト	69	53.5%	118	70.2%	119	76.3%	75	72.1%	64	69.6%	445	68.6%	<0.01
mixiなどのSNS	72	55.8%	115	68.5%	108	69.2%	77	74.0%	66	71.7%	438	67.5%	0.03
エロ系SNS	40	31.0%	52	31.0%	70	44.9%	52	50.0%	43	46.7%	257	39.6%	<0.01
スマートフォン向けのゲイ向けアプリ	92	71.3%	128	76.2%	118	75.6%	75	72.1%	58	63.0%	471	72.6%	0.19
ゲイ向けサークル	18	14.0%	47	28.0%	41	26.3%	23	22.1%	14	15.2%	143	22.0%	0.01
ゲイ向け合コン	11	8.5%	35	20.8%	28	17.9%	13	12.5%	6	6.5%	93	14.3%	<0.01
ゲイの乱パ	6	4.7%	13	7.7%	11	7.1%	11	10.6%	10	10.9%	51	7.9%	0.38
有料のハッテン場	57	44.2%	92	54.8%	91	58.3%	77	74.0%	60	65.2%	377	58.1%	<0.01
野外のハッテン場	18	14.0%	35	20.8%	40	25.6%	39	37.5%	35	38.0%	167	25.7%	<0.01
ハッテン場で有名な公共施設	26	20.2%	54	32.1%	70	44.9%	53	51.0%	47	51.1%	250	38.5%	<0.01

付表7 GCQ アンケート 2013：年齢別の検査行動、HIVの身近さ、性感染症罹患、性行動

	年齢										合計 n=649	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=129		25-29歳 n=168		30-34歳 n=156		35-39歳 n=104		40歳以上 n=92				
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？													
ある	100	77.5%	148	88.1%	139	89.1%	91	87.5%	74	80.4%	552	85.1%	0.03
ない	29	22.5%	20	11.9%	17	10.9%	13	12.5%	18	19.6%	97	14.9%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	65	50.4%	114	67.9%	110	70.5%	70	67.3%	51	55.4%	410	63.2%	<0.01
ない	64	49.6%	54	32.1%	46	29.5%	34	32.7%	41	44.6%	239	36.8%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？													
ある	50	38.8%	70	41.7%	47	30.1%	32	30.8%	21	22.8%	220	33.9%	0.01
ない	79	61.2%	98	58.3%	109	69.9%	72	69.2%	71	77.2%	429	66.1%	
過去1年の検査場所(複数回答)													
保健所の通常検査	28	21.7%	32	19.0%	23	14.7%	13	12.5%	9	9.8%	105	16.2%	0.09
保健所の即日検査	14	10.9%	31	18.5%	23	14.7%	10	9.6%	10	10.9%	88	13.6%	0.17
保健所の夜間検査	3	2.3%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.8%	0.22
医療センターなどの病院	6	4.7%	7	4.2%	7	4.5%	6	5.8%	3	3.3%	29	4.5%	0.94
クリニック・医院・診療所	10	7.8%	4	2.4%	5	3.2%	6	5.8%	5	5.4%	30	4.6%	0.20
郵送検査キット	1	0.8%	1	0.6%	1	0.6%	2	1.9%	2	2.2%	7	1.1%	0.65
その他	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	2	2.2%	5	0.8%	0.15
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？													
いる	17	13.2%	38	22.6%	57	36.5%	39	37.5%	35	38.0%	186	28.7%	<0.01
いると思う	24	18.6%	37	22.0%	41	26.3%	31	29.8%	15	16.3%	148	22.8%	
いないと思う	38	29.5%	39	23.2%	24	15.4%	15	14.4%	13	14.1%	129	19.9%	
いない	13	10.1%	13	7.7%	8	5.1%	3	2.9%	8	8.7%	45	6.9%	
わからない	37	28.7%	41	24.4%	26	16.7%	16	15.4%	21	22.8%	141	21.7%	
過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	35	27.1%	56	33.3%	49	31.4%	37	35.6%	27	29.3%	204	31.4%	0.25
ない	45	34.9%	59	35.1%	71	45.5%	37	35.6%	35	38.0%	247	38.1%	
彼氏・恋人がいなかった	49	38.0%	53	31.5%	36	23.1%	30	28.8%	30	32.6%	198	30.5%	
過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	70	54.3%	103	61.3%	76	48.7%	49	47.1%	45	48.9%	343	52.9%	0.09
ない	59	45.7%	65	38.7%	80	51.3%	55	52.9%	47	51.1%	306	47.1%	
過去6か月間に周囲の人とHIVやエイズについて話したことがありますか？													
ある	73	56.6%	109	64.9%	88	56.4%	58	55.8%	49	53.3%	377	58.1%	0.33
ない	56	43.4%	59	35.1%	68	43.6%	46	44.2%	43	46.7%	272	41.9%	
次の中で、これまでにかったことがある性感染症はありますか？(複数回答)													
梅毒	2	1.6%	5	3.0%	16	10.3%	13	12.5%	8	8.7%	44	6.8%	<0.01
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%	2	0.3%	0.03
B型肝炎	3	2.3%	10	6.0%	8	5.1%	13	12.5%	11	12.0%	45	6.9%	0.01
クラミジア	4	3.1%	9	5.4%	14	9.0%	8	7.7%	8	8.7%	43	6.6%	0.26
尖圭コンジローマ	4	3.1%	4	2.4%	4	2.6%	4	3.8%	6	6.5%	22	3.4%	0.45
淋病	0	0.0%	1	0.6%	3	1.9%	4	3.8%	3	3.3%	11	1.7%	0.10
HIV感染症	1	0.8%	2	1.2%	5	3.2%	3	2.9%	3	3.3%	14	2.2%	0.48
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.9%	0	0.0%	3	0.5%	0.15
毛じらみ	21	16.3%	50	29.8%	56	35.9%	52	50.0%	42	45.7%	221	34.1%	<0.01
性器ヘルペス	1	0.8%	0	0.0%	4	2.6%	2	1.9%	2	2.2%	9	1.4%	0.29
その他	1	0.8%	1	0.6%	2	1.3%	0	0.0%	1	1.1%	5	0.8%	0.82
いずれもなし	100	77.5%	106	63.1%	79	50.6%	39	37.5%	36	39.1%	360	55.5%	<0.01
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？													
ある	122	94.6%	161	95.8%	155	99.4%	104	100.0%	90	97.8%	632	97.4%	0.03
ない	7	5.4%	7	4.2%	1	0.6%	0	0.0%	2	2.2%	17	2.6%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？													
ある	117	90.7%	152	90.5%	145	92.9%	101	97.1%	84	91.3%	599	92.3%	0.30
ない	12	9.3%	16	9.5%	11	7.1%	3	2.9%	8	8.7%	50	7.7%	

付表 8 GCQ アンケート 2013 : 年齢別の性行動

	年齢										合計 n=649	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=129		25-29歳 n=168		30-34歳 n=156		35-39歳 n=104		40歳以上 n=92				
過去6ヶ月間のアナルセックス経験													
過去6ヶ月間あり	110	94.0%	140	92.1%	120	82.8%	83	82.2%	70	83.3%	523	87.3%	0.01
過去6ヶ月間なし	7	6.0%	12	7.9%	25	17.2%	18	17.8%	14	16.7%	76	12.7%	
合計	117	100.0%	152	100.0%	145	100.0%	101	100.0%	84	100.0%	599	100.0%	
コンドーム使用状況													
非常用	67	60.9%	86	61.4%	69	57.5%	42	50.6%	40	57.1%	304	58.1%	0.57
常用	43	39.1%	54	38.6%	51	42.5%	41	49.4%	30	42.9%	219	41.9%	
合計	110	100.0%	140	100.0%	120	100.0%	83	100.0%	70	100.0%	523	100.0%	
彼女や恋人などの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	29	53.7%	38	62.3%	28	65.1%	21	56.8%	17	68.0%	133	60.5%	0.68
常用	25	46.3%	23	37.7%	15	34.9%	16	43.2%	8	32.0%	87	39.5%	
合計	54	100.0%	61	100.0%	43	100.0%	37	100.0%	25	100.0%	220	100.0%	
友達やセフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況													
非常用	29	58.0%	41	62.1%	31	55.4%	19	52.8%	13	52.0%	133	57.1%	0.86
常用	21	42.0%	25	37.9%	25	44.6%	17	47.2%	12	48.0%	100	42.9%	
合計	50	100.0%	66	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	25	100.0%	233	100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況													
非常用	29	74.4%	24	44.4%	25	44.6%	12	41.4%	16	50.0%	106	50.5%	0.02
常用	10	25.6%	30	55.6%	31	55.4%	17	58.6%	16	50.0%	104	49.5%	
合計	39	100.0%	54	100.0%	56	100.0%	29	100.0%	32	100.0%	210	100.0%	

付表9 GCQ アンケート 2013：年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢										合計 n=649	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=129		25-29歳 n=168		30-34歳 n=156		35-39歳 n=104		40歳以上 n=92				
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？													
口内射精したことがある	31	24.0%	53	31.5%	36	23.1%	18	17.3%	20	21.7%	158	24.3%	0.02
口内射精されたことがある	24	18.6%	28	16.7%	20	12.8%	15	14.4%	11	12.0%	98	15.1%	
どちらもある	25	19.4%	33	19.6%	31	19.9%	13	12.5%	12	13.0%	114	17.6%	
どちらもない	49	38.0%	54	32.1%	69	44.2%	58	55.8%	49	53.3%	279	43.0%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験													
いずれもなし	110	85.3%	140	83.3%	122	78.2%	92	88.5%	62	67.4%	526	81.0%	0.00
パイアグラのみ併用	5	3.9%	10	6.0%	10	6.4%	4	3.8%	16	17.4%	45	6.9%	
他の薬物併用経験あり	14	10.9%	18	10.7%	24	15.4%	8	7.7%	14	15.2%	78	12.0%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験（再掲）													
いずれもなし	110	85.3%	140	83.3%	122	78.2%	92	88.5%	62	67.4%	526	81.0%	0.00
他の薬物併用経験あり	19	14.7%	28	16.7%	34	21.8%	12	11.5%	30	32.6%	123	19.0%	
過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？													
ある	70	54.3%	78	46.4%	56	35.9%	41	39.4%	35	38.0%	280	43.1%	0.02
ない	59	45.7%	90	53.6%	100	64.1%	63	60.6%	57	62.0%	369	56.9%	
過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？													
いつも持っていた	46	35.7%	63	37.5%	67	42.9%	44	42.3%	45	48.9%	265	40.8%	0.68
時々持っていた	37	28.7%	47	28.0%	41	26.3%	30	28.8%	23	25.0%	178	27.4%	
持っていなかった	46	35.7%	58	34.5%	48	30.8%	30	28.8%	24	26.1%	206	31.7%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？													
ある	9	7.0%	8	4.8%	10	6.4%	4	3.8%	7	7.6%	38	5.9%	0.73
ない	120	93.0%	160	95.2%	146	93.6%	100	96.2%	85	92.4%	611	94.1%	
過去6ヶ月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？													
ある	15	11.6%	10	6.0%	6	3.8%	2	1.9%	1	1.1%	34	5.2%	0.00
ない	114	88.4%	158	94.0%	150	96.2%	102	98.1%	91	98.9%	615	94.8%	
博多の住吉にあるHAKATA Community center hacoに行ったことがありますか？													
行ったことがある	24	18.6%	51	30.4%	53	34.0%	40	38.5%	36	39.1%	204	31.4%	0.00
知っているが行ったことない	41	31.8%	60	35.7%	56	35.9%	46	44.2%	33	35.9%	236	36.4%	
知らない	64	49.6%	57	33.9%	47	30.1%	18	17.3%	23	25.0%	209	32.2%	
LAFが配布しているコミュニティペーパーseasonを読んだことがありますか？													
読んだことがある	42	32.6%	93	55.4%	91	58.3%	70	67.3%	51	55.4%	347	53.5%	0.00
知っているが読んだことない	11	8.5%	16	9.5%	13	8.3%	9	8.7%	10	10.9%	59	9.1%	
知らない	76	58.9%	59	35.1%	52	33.3%	25	24.0%	31	33.7%	243	37.4%	
LAFが配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？													
過去1年間に持ち帰った	30	23.3%	68	40.5%	55	35.3%	36	34.6%	37	40.2%	226	34.8%	0.00
1年以上前に持ち帰った	14	10.9%	26	15.5%	28	17.9%	27	26.0%	11	12.0%	106	16.3%	
知っているが持ち帰ったことない	11	8.5%	16	9.5%	17	10.9%	16	15.4%	13	14.1%	73	11.2%	
知らない	74	57.4%	58	34.5%	56	35.9%	25	24.0%	31	33.7%	244	37.6%	
これまでに博多のキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？													
見た	46	35.7%	84	50.0%	71	45.5%	55	52.9%	35	38.0%	291	44.8%	0.03
見ていない	83	64.3%	84	50.0%	85	54.5%	49	47.1%	57	62.0%	358	55.2%	
あなたはLAFが実施している即日検査キャンペーンを知っていますか？													
利用した(クリニックで検査を受けた)	16	12.4%	17	10.1%	13	8.3%	9	8.7%	9	9.8%	64	9.9%	0.03
知っているが利用したことはない	29	22.5%	60	35.7%	56	35.9%	48	46.2%	38	41.3%	231	35.6%	
知らない	84	65.1%	91	54.2%	87	55.8%	47	45.2%	45	48.9%	354	54.5%	